

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 25.11.1 第 185 回国会第 2 号

11 月 1 日（金）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

・下村文部科学大臣、櫻田文部科学副大臣、佐藤厚生労働副大臣、富岡文部科学大臣政務官、上野文部科学大臣政務官、磯崎経済産業大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役副社長 山口 博君

（質疑者及び主な質疑内容）

笠 浩 史君（民主）

- ・2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会について、オリンピックと切り離されたイメージのあるパラリンピックとオリンピックを一体的に開催することは、共生の理念をアピールするためにも意義があると考えますが、大臣の見解を伺いたい。
- ・少人数学級の推進について、前回の委員会での大臣挨拶等において、少人数教育の推進の中で取組むとされており、取組に向けた姿勢が後退した印象を受けるが、大臣の認識を伺いたい。
- ・いじめ防止対策推進法の規定に基づき策定されたいじめの防止等のための基本的な方針において、「文部科学省は、法や国の基本方針の内容をより具体的かつ詳細に示すため、協議会を設けるなどして、具体的な運用等の在り方に関する指針を策定する」とあるが、地方公共団体がいじめ防止基本方針を策定する際の参考となる同指針の策定期間について伺いたい。

細 野 豪 志君（民主）

- ・少人数教育の推進については、学力向上よりも、いじめや不登校などの問題への対応を判断の指標とすべきと考えますが、大臣の見解を伺いたい。
- ・福島県双葉郡における中高一貫校の設置に向けての福島県の取組を国として支援する必要があると考えますが、設置に向けた大臣の決意を伺いたい。
- ・文部科学省と厚生労働省が連携して、児童養護施設等に入所している生徒の高等教育への進学率を上げるべきと考えますが、大臣の見解を伺いたい。また、そのために必要な環境整備についての厚生労働省の取組について伺いたい。

椎 木 保君（維新）

- ・平成 25 年 4 月の予算委員会第四分科会において、臨時免許状の授与や免許外教科担任の許可に関して都道府県に対して指導する旨を大臣が答弁しているが、そ

の後どのような対応が取られたのか。

- ・臨時免許状の授与を受けた者は、教員免許更新制の受講の対象とされていないが、その教員の質の向上に関してどのような方策が取られているのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・現行の教育職員検定は客観性や教員の専門性の確保が担保されていないと考えるが、各都道府県の教育職員検定の実施状況を調査する必要性について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・普通免許状の授与を受け、採用されなかった者が約 15 万人もいるにもかかわらず、相当の免許状を有していない者が数多く教壇に立っている現状を改める必要性について、大臣の見解を伺いたい。

遠 藤 敬君（維新）

- ・原子力に携わる人材の育成の困難さは増しているが、国策として原子力を推進してきた以上、我が国の人材の確保に向けて、国は積極的に取組む必要があるが大臣の見解を伺いたい。
- ・全国学力調査の結果について、学力向上の課題克服や問題解決などに学校自身の努力を促すため、学校名を明らかにした結果の公表が必要であると考えますが、大臣の見解を伺いたい。

井 出 庸 生君（みんな）

- ・私立高校の役割は、ベビーブーム世代が高校に入学した頃と現在では異なると思うが、上野文部科学大臣政務官の私立学校を経営した経験を踏まえた見解を伺いたい。
- ・高等学校等就学支援金について所得制限を設けることの趣旨及び恒久的な制度とするかなど今後の方向性について、大臣の見解を伺いたい。
- ・「特定秘密の保護に関する法律案」が文部科学行政に与える影響の有無及びそれを説明する必要性について、大臣の見解を伺いたい。

吉川 元君（社民）

- ・東京電力は、茨城県内で福島第一原子力発電所事故の風評被害に遭った事業者が請求した平成 25 年 3 月分からの損害賠償の支払いを行わない旨の通知を送付しているが、粗い事実認定に基づく一方的な通知で、事業者には大きな不利益を生じさせており、対応を改めるべきと考える。東京電力及び文部科学省の認識を伺いたい。
- ・全国学力・学習状況調査の結果が公表されたが、現場を過度な競争にさらし、学校の序列化をもたらしている懸念がある。また、現行の悉皆調査ではなく抽出調査で足りると考えているが、文部科学省の認識及び見解を伺いたい。
- ・桜島は近年活動が活発化し、大噴火が近づきつつあると認識されている。被害を最小限にする観測・研究を進めるため、拠点となる桜島北東部の観測坑道の整備と機器の設置の予算の確保についての文部科学省の認識を伺いたい。

宮本 岳志君（共産）

- ・2020 年オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムについて、世界ではオリンピック後の使用を見据えてコンパクト化が進められている中、国立競技場の改修については現在の計画では規模が大き過ぎ、かつ、コンクール最優秀案では建設費が 3,000 億円に達するとの見解もあることから、縮小すべきであると考

えるが、大臣の見解を伺いたい。

- ・「国立大学におけるミッションの再定義」において、文部科学省から教員養成分野の大学組織の在り方など細かな指示を行っていることについては問題があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・平成 26 年度の文部科学省における少人数学級の取組について、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正を行うのか、教員定数の加配で措置するのか、今後の見通しを大臣に伺いたい。

青木 愛君（生活）

- ・福島第一原子力発電所の廃炉、核廃棄物の処理方法などの見通しが立たない中、原子力発電所の再稼働を今後も進め、将来的にもエネルギー源とするつもりなのか、大臣の見解を伺いたい。
- ・直ちに原子力発電所を全廃したとしても、核廃棄物は、その処理に要する数十万年の間、安全に管理しなければならない。天災・人災の危険性を考慮すると、核廃棄物の処理期間を短縮が可能となる加速器駆動未臨界システムの開発に予算をかけていくべきだと考えるが、現在どのような状況なのか伺いたい。
- ・川崎天然ガス発電所では、コンバインドサイクル方式の発電機 2 基で原発 1 基分の電力を生み出す。このような代替エネルギーの開発に大きく舵を切り、そのプラントや技術を世界に展開すべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

2 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 7 号）

- ・下村文部科学大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。